

# FC深川レインボーズ 2チームとも決勝進出!!

レインボーズ & レインボーズ  
タイガー ドラゴン

## レインボーズ新聞



7月14日、15日の2日間にわたり、参加16チームによる、小学2年生の第5回レインボーズ杯(FC深川レインボーズ主催)が開催された。初日の予選リーグでは、4チームずつの4グループに分かれ、グループ内で総当たり戦を行い、各グループ上位2チームが決勝進出。翌日、8チームによる決勝トーナメントが実施された。2チームがエントリしたFC深川レインボーズは、両チームともに予選リーグを突破し、2日目の決勝トーナメントへ、揃って進出。惜しくも決勝ラウンド1回戦で姿を消したものの、選手たちの活躍は会場を沸かせた。2日間の戦いを終え、五砂FCが優勝を果たし、FC城東が準優勝、新浜FC、スターキッカーズがそれぞれ3位、敢闘賞(4位)に輝いた。(写真上からレインボーズタイガー、レインボーズドラゴンの選手たち)

タイガーチームは、予選リーグ第1試合FC北砂、第2試合Jスターズを相手に2試合とも1-0で勝ち、予選突破が確定した。第3試合のY.M.C.A.に引き分け以上で予選グループ1位通過が見えていた。

勢いに乗って勝ち点を取りにいきたかったが、序盤にゴール前の混戦から2点を与え、さらに1点を追加され、0-3で前半を折り返す。後半になって1点を返したが、その後は追加点を奪えず、1-3で試合終了。予選は2勝1敗でFC北砂と勝ち点で並んだが、得失点差で首位を譲り、B組を2位で通過した。それまでの練習試合では、なかなか勝てずにいたチームだったが、「勝つためには、相手に点を入れさせないこと」。

選手が守備の意識を持ち、高い位置から相手のボールを取りに行く。最終ラインもボールに釣られず、ポジションを考えるようになったことで、相手に攻撃の機会を与えず、味方の攻撃陣が確実に点を取ることで、予選突破をものにした。

翌15日の決勝トーナメント1回戦。強敵スターキッカーズを相手にボールをキープすることができず、相手の猛攻を受け、2点を先制されてしまう。後半もチャンスは何度かあったものの最後まで相手を崩せず、逆に1点を追加され、0-3で敗れてしまった。

一方、同じくグループ2位で予選を通過したドラゴンチームも決勝の1回戦で敗退。よほど悔しかったのか、選手たち自ら「練習したい」と言い出し、木場公園のグラウンドに約半数の選手が集合。両チームとも決勝トーナメント1回戦で敗退したが、この大会で次につなげる何かを見つけたのか、成長に期待したい。

### みんなが役割やポジションを意識

砂町SC戦の後、「ドラゴンの中野」きつぱいキャプテンが「レインボーズって強くなったよね。前は弱かったのに。たくさん試合やって、(試合が)分かってきたんだ」と話してくれた。たしかに、つい半年前までは全員で1つのボールを追いかけて回っていたのに、みんなが自分のポジションや役割を意識し、チームとして試合に向かえるようになってきた。まだまだ個々のパフォーマンスを上げないと強いチームには勝てないけど、サッカーはチームスポーツなんだ、という理解がまずは大切。

試合に勝ってうれしい、負けて悔しい、という表情もみんなに見てとれた。本気で戦っているからこそ、うれしいし、悔しい。結果はともあれ、チームの成長を強く感じた2日間。もっと

ともっと練習して、どんどん強くなってほしい。(2年生保護者S)

### コーチが振り返る レインボーズ杯

両チームともに決勝トーナメント進出というのがまずは目標だったので、そこが達成できたのはよかったです。と思います。

チームの分け方としてはどちらか一方が強いのではなく、ほぼ同等の戦力になるようにメンバー分けしました。メンバー構成は、たんに上手い下手という観点でなく、似たタイプの選手がどちらかのチームにかたまらないよう、適性と組み合わせを工夫しました。

レインボーズ杯直前のチーム分けでなく、3カ月ほど前から2チームに分け、ほぼ同じメンバーで何度も練習試合などを行ってきたため、選手間のコンビネーションや連携も比較的スムーズにいったのでしよう。これから当面はリフティングやドリブル、1対1など基礎練習をしっかり行い、2年生全体の基本的なレベルを高めていきたいですね。



大日方冬樹コーチ(2年生担当)